

社会見学の学研都市

四條畷市編

けいちゃん・はんちゃん・なあちゃんの3人が、けいはんな学研都市の8市町(精華町、木津川市、京田辺市、枚方市、交野市、四條畷市、奈良市、生駒市)を全8回にわたって訪問します。シリーズ第3回となる今回は、四條畷市を訪問しました。

四條畷市で『リユース』の活動をしている人にお話を聞いてきたよ！リユースって言葉は聞いたことあるけど、具体的にどんなことをするのか？

今回お話を聞いたのは、四條畷の田原地域に暮らす西川さんと濱知さん。地域内でコミュニケーションのきっかけとなる企画を濱知さんたちが考えていたとき、環境問題に取り組んでいた西川さんとコラボしたことが活動の始まりだったんだって。リユースされているのは、使わなくなった食器！みんなが使わなくなった食器を持ち寄って、必要な人が持って帰ることができるイベント「食器のリユース あるある市」が定期的開催されるようになったそうだよ。



「コミュニケーションの場だけ作っても、なかなか参加しづらいですね。そこで、リユースという活動が地元の人が足を運ぶきっかけになればと思いました。今では食器を持ってきたついでにコーヒーを飲んでもらったりして、地域の交流が広がるイベントになったんですよ」とお話しされていたよ。キッチンカーイベントや音楽祭と同時開催するなど、活動が広がっているそうだよ！食器の中には掘り出し物もたくさんあるらしい！楽しいだけでなく、ゴミも減らせて環境に優しい活動なんだね。私も使わなくなった食器を持って行ってみようかなあ。



田原地域では自動運転の実証実験を行っているんだって！それって、どんな移動手段なんだろう？

カートに取り付けたセンサーを使って自動で走る実験と、手動運転の電気自動車の実験、2つが行われていて、僕たちも乗車を体験させてもらったよ！時速15kmのカートに乗って街の中をゆっくり走ると風が気持ちよくて、季節も感じられて楽しかった！乗りたい人は事前に予約するシステムみたいだよ。今は地元の人に乘ってもらって、集まった色々な感想や意見をもとに実験を繰り返しているところなんだって。



今は若い世代のファミリー世帯が増えている田原地域。だけど、高齢化の時代を見越して、地域内での移動手段を作るために、今から自動運転の実験を行っているそうだよ。停留所を公園前に作ることで、新しいコミュニティを作り出すことを目指しているんだって。地元の人たちの交流の場を積極的に作ったり、意見を取り入れたりして、みんながまちづくりをしているんだなあと感じられる社会見学だったよ。



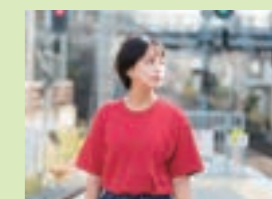
スマートシティへの挑戦！



四條畷市の東部にある田原地域は、古くからの田園風景が残る既存集落と山間部等を切り開き造成された関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)区域内の住宅地等で構成されています。

田原地域は、2012(平成24)年度末の人口9,293人をピークに、人口は2017(平成29)年では9,067人となっています。人口減少傾向にあったことから、平成29年11月から田原地域活性化の取り組みを開始しました。

地域主体のまちづくりや、スマートシティへの取り組み、実証実験などを進めています。



イラスト・記事制作
おおえ さき

イラストレーター、マンガ家、ラジオDJ。
京都市出身。
著書『ショート・ショート・キョート』発売中。
FMKYOTO『FLOWER HUMMING』
毎週日曜20時からOA中。
SNSにて作品更新中！
twitter/instagram @ohyeah_saki